

台湾で最も愛される日本人 八田與一

令和4年3月7日
横浜歴史研究会 大瀬克博

親日国台湾で最も愛される日本人の八田與一は台湾南西部嘉南平野の灌漑システム・嘉南大圳を建設した土木技術者である。

台湾の時代背景

台湾の地は16世紀になりオランダなどヨーロッパに注目され、倭寇の根拠地ともなった。

1642 オランダ統治

1683 清統治・福建省「化外の地」

1873 日本による台湾出兵

1894 日清戦争終結 日本統治開始



八田與一
(出所: Wikipedia)

台湾近代化

明治31年 第4代台湾総督・児玉源太郎、民政長官・後藤新平

台湾近代化事業開始 農業振興、水利事業、鉄道及び港湾整備

八田與一は水利事業に従事し活躍

八田與一

明治19年 金沢市生れ、明治37年に第4高等学校入学

明治40年 東京大学入学 広井勇教授に土木工学を学ぶ

明治43年 台湾総督府土木部に職を得る

嘉南大圳着工

八田は嘉南平原の灌漑システム「嘉南大圳」を計画立案

大正9年 第7代総督・明石元二郎の認可で着工



明石元二郎
出所: Wikipedia

烏山頭ダム建設 貯水量1万6千トン地形、地盤を考慮しセミ・ハイドロリック工法を採用

東洋で最初の巨大ダム 視察と大型機材購入のため渡米

灌漑システムは総延長1万6千km用水路により15万ha嘉南平原を潤す

10年の苦闘

大正11年 排水隧道工事で爆発事故 50余名が犠牲となる

大正12年 関東大震災で工事予算削減 職員半減のリストラ

嘉南平原は穀倉地帯に

昭和5年 着工10年を経て嘉南大圳完成

嘉南平原は洪水、旱魃、塩害の三重苦が解消し台湾一の穀倉地帯に生まれ変わる

工事費総額を大きく上回る価値を生み、農民の生活は格段のレベルアップとなる

八田の銅像

昭和6年 職員たち発議でダム近くに銅像建立

本人の意思で座像となる。

2017年に何者かにより銅像は破壊されるが現地関係者の奔走に元通りに復旧された。



銅像 (出所:Wikipedia)

八田の最後

1942年4月 八田にフィリピン灌漑計画策定要請が来る。八田は部下と共に広島に行き輸送船大洋丸に乗り込んで現地に向かう。その途次、5月8日に東シナ海で米軍潜水艦の魚雷攻撃を受け大洋丸は沈没、八田は乗員と共に56歳の生を終えた。

16歳で八田と結婚した妻外代樹は台湾開発で夫を支えた。外代樹は太平洋戦争が終わった1945年9月1日に夫の後を追って烏山頭ダムに身を投げた。この日はダム着工日である。

李登輝の評価

元総統の李登輝は八田を高く評価し講演、著作などで功績、人柄を紹介していた。

彼は八田與一が台湾に残した日本精神として次の4つを挙げる。

第1に公に奉じる精神、第2に人を差別しない平等の精神、第3に伝統と進歩の調和、第4に率先垂範、実行そして真心 である。

嘉南大圳着工100年記念式典

2021年5月8日、八田與一の命日に現地で開催された着工100年記念式典に蔡英文総統、頼副総統、蘇行政院長の台湾スリートップが出席した。

蔡総統の演説要旨である。

「嘉南大圳は広大な嘉南平原を台湾の重要な穀倉地帯に変えた。これはダム設計から工事監督まで担った八田與一技師と台湾及び日本の工事関係者の努力による。



蔡英文総統
(出所: Wikipedia)

この歴史は台湾と日本の絆の証である。この100年間、嘉南大圳の流れが絶えなかったように台湾と日本は技術・経済・農業・文化の各方面で緊密な交流を維持してきた。我々が共に努力することで台湾と日本の友好関係が続くと信じている。八田技師の勇気、ビジョン、行動力を見習い、これから100年後の子孫のために美しい環境を残していこう。」

参考及び引用文献

- 武士道解題 李登輝 小学館文庫 講演録「日本人の精神」
- 歴史街道 2017年6月号 PHP研究所
- 日本大百科全書(ニッポニカ)
- 台湾を愛した日本人—土木技師八田與一の生涯 創風社出版
- フリー百科事典『ウィキペディア』
- 台北駐日経済文化代表処HP